

低炭素社会の 実現に向けて

製品や事業活動を通じて、理想科学が展開する
CO₂の排出量削減のための取り組みを紹介します。



CO₂の累積排出量^{※1}と地球温暖化

平均気温上昇が
2℃を超えるまでの年数

約 **30** 年

CO₂の累積排出量と気温上昇は比例関係にあり、産業革命以後の気温上昇が2℃を超えることによる影響の拡大が懸念されています。化石燃料の燃焼などによるCO₂の排出量は、2011年には年間約10GtCであり、このままのペースで進むと世界の平均気温上昇が産業革命以前^{※2}から2℃を超えるCO₂累積排出量^{※3}となるのは約30年後と予測されています。

※1 今までに大気に排出された人為起源のCO₂の総量

※2 1861年～1880年平均

※3 50%を超える確率

出展：IPCC（気候変動に関する政府間パネル）第5次評価報告書

製品使用時の省エネを追求

→ きめ細かな省エネ機能を搭載

「オルフィス」には、節電のためのきめ細かな省エネ機能が搭載されています。一定時間使用のない場合、自動で省電力モードに切り替わる「オートスリープ」や「オートバックライトoff」機能を設定することで、待機時電力を150W以下、スリープモード電力を5W以下に抑えることが可能です。さらに、指定した曜日・時刻にプリンターの副電源を自動でオン・オフする「タイマー運転機能」を利用することにより、電力消費を0.5Wにまで削減することができます。



操作パネル上の
ウェイクアップキーと
タイマー運転表示

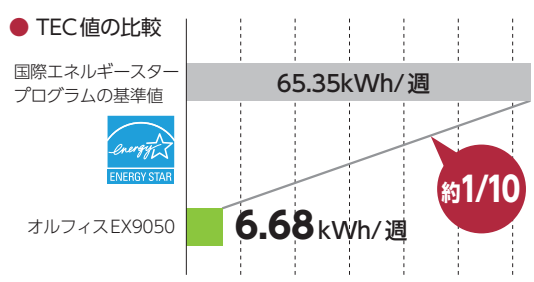
タイマー運転		取り消し		確定		
無効	有効					
月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜
起動 08:30	起動 08:30	起動 08:30	起動 08:30	起動 08:30	起動 08:30	起動 08:30
終了 —	終了 22:00	終了 22:00	終了 22:00	終了 22:00	終了 22:00	終了 22:00

タイマー設定画面

→ 環境性能の高さを示すTEC値を更新

理想科学は、使用時の消費電力量を示すTEC^{※1}値の低減に努めています。2013年に登場した「オルフィスEX」は、従来製品と比較してTEC値の48%低減を実現しました。また、オフィス機器の国際的な省エネ制度「国際エネルギースタープログラム」に適合するためのTECの基準値65.35kWh/週と比較しても約1/10にあたる6.68kWh/週という低い数値を達成しています。こうした環境性能向上への取り組み成果が認められて、平成25年度「省エネ大賞」^{※2}を受賞しました。

※1 TEC: Typical Electricity Consumption (標準的な電力)の略。1週間のプリンター使用[稼働とスリープ/オフが繰り返される5日間+スリープ/オフ状態の2日間]の消費電力量
※2 主催: 一般財団法人省エネルギーセンター



平成25年度「省エネ大賞」表彰式

← 節電をしながら、蓄えた電力で印刷を

→ 夜に蓄えた電気で昼に印刷する

夜間に蓄えておいた電力で、日中の「リソグラフィ」での印刷に必要なエネルギーをまかなうことができる「RISO ピークシフト・プリント・システム」を提供しています。電力供給が逼迫しがちな夏期・冬期の日中の時間帯も、節電をしながら大切な印刷物を休まず印刷し続けることが可能です。また蓄電することにより、災害などによって停電となった場合も、蓄えた電力での印刷が可能となるため、避難所などでの利用も期待されています。



日々の事業活動の環境負荷低減へ

→ グリーンカーテンで室温を抑制

宇部事業所、霞ヶ浦事業所、筑波事業所などでは、アサガオやゴーヤなどつる性植物を建物の外側に生育させることで、建物内の温度上昇を抑制し、節電に結びつけるグリーンカーテンづくりに積極的に取り組んでいます。各事業所のグリーンカーテンは、自社の省エネルギーに役立つばかりでなく、理想科学の環境保全への思いを地域社会に向けて発信する存在となっています。



グリーンカーテン
(宇部事業所、霞ヶ浦事業所、
筑波事業所)

→ 消費電力の低いLED照明を導入

各事業所では、消費電力の低い「LED照明」への切り替えを順次行っています。また、人の存在を感知した時に灯りがつく「センサー照明」の導入や必要な明るさを保ちながら不要な照明を取りのぞくなど、きめ細かな節電対策を実施しています。



LED照明



センサー照明

→ 再生可能エネルギーの利用を促進

理想開発センターでは、環境負荷低減を図る設備を導入しています。太陽光・風力発電装置のほか、地中熱を利用したヒートポンプも設置しています。さらに、建物内部に太陽光を取り込むための太陽光自動追尾装置の設置など、あらゆる面から再生可能エネルギーの利用が図られています。



太陽光自動追尾装置



風力太陽光ハイブリッド発電



地中熱の利用



→ クールビズの推進

使用電力の削減と地球温暖化対策のために、冷房設定温度を28度にし、ノーネクタイ・ノー上着で過ごすクールビズを実践しています。また、クールビズと連携して行われている、「最新の知恵をみんなで楽しくシェアしながら低炭素社会をつかっていこう」を合言葉とする気候変動キャンペーン「Fun to Share」に参加しています。



クールビズ推進の社内ポスター



→ 営業車で環境配慮

営業やサービス活動の移動に使う営業車には、地球環境に配慮しCO₂排出を抑えた車を積極的に導入しています。2014年度も、低燃費の車種を導入しています。



営業車へのエコカー導入

Topics

改正フロン法への対応

2015年4月から施行された「フロン排出抑制法」への対応に取り組みました。「第一種特定製品^{*}」を所有する12の事業所において、対象となる機器のリスト化、圧縮機に用いられる電動機の定格出力に応じた「定期点検計画」の作成、把握した漏えい量の報告ルールの方策などを行い、フロン類の管理体制を構築しました。

^{*}冷媒としてフロン類が充填されている業務用空調機器・冷凍冷蔵機器など